

迅速検査を受検された方へ

■本日の HIV 検査は、抗体スクリーニング検査法の1つで、迅速診断キットを用いて行います。

◇40分～50分後に結果がでます。受け付けた番号でお呼びしますので、ロビーでお待ちください。(外出される方は、お早めにロビーにお戻りください。)

◇「特定感染症申込書控」で本人確認をします。紛失した場合は結果を伝えられませんが、ご注意ください。

迅速検査で 陰性 の場合

感染の可能性のある行動から3ヶ月以上経過してから検査を受けた場合は、「HIVに感染していない」ことを意味します。

まだ3ヶ月を経過していない場合には、HIVに感染していないことを確定するためには、3ヶ月以上経ってから、再検査を受けることをお勧めします。

迅速検査で 陽性 (要確認検査) となった場合

迅速検査で陽性“要確認検査”となった場合には、より精度の高い方法で確認検査をおこないます。迅速検査では 1000 人に 2～5 人(0.2～0.5%)くらいの人が感染していないのに陽性(これを偽陽性といいます)となることがあるため、確認検査により、真の陽性(HIV感染)か、感染していないのに陽性となった”偽陽性“か、確認検査で見分ける必要があります。このため、もし迅速検査で陽性(要確認検査)となった場合には、確認検査の結果を聞くため再度来て頂くことが必要になります。(検査結果は一週間程度かかります。)

■感染の可能性のある行動からどれくらいの期間が経っていますか？

感染の可能性 のある行動から 3ヶ月以内 の場合

HIV に感染しても感染初期には血液中に抗体やウイルスが検出されない期間(ウインドウ期間)があります。このため、この感染初期に検査をすると、感染していても検査で陰性となることがあります。通常は、感染後 1 ヶ月ほどで抗体が検出されるようになりますので、感染の機会から 1 ヶ月以上経ってからの検査で陰性であれば、感染の可能性はかなり小さくなります。2 ヶ月以上経っての検査であれば感染の可能性はほとんどないと言えます。但し個人差もあるため、検査前3ヶ月以内に感染の機会があった場合、感染の可能性を明確に否定するためには、感染の機会から3ヶ月以上経ってからの再検査をお勧めします。

● HIV 検査に関する情報は・・・

「HIV検査・相談マップ」ホームページ <http://www.hivkensa.com> をご覧下さい。